科	目	現代	の国語	学年·	類型]	年・商	業科		単位数	2
į	教 科 書 高等学校 標準現代の国語 (第一学習社)										
副教材等 ネクスト常用漢字 (第一学習社)											
	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けられるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。										
学	学 習 1 読解の基本となる漢字の力や語彙力を身に付けるべく、辞書を活用する。 2 予習・復習を徹底し、授業に集中できるようにする。										
心	心 得 3 日頃から「多読」を意識し、読書に親しむ。										
	1	単男なは			_ 	かはいも		な学		活動	
	1		いる で本を読む は謎に満ち		・文章	の使い方を基に論え を表に論えて、 で、 で、	、筆者の	考える読	書の	や要点を把持効用や好奇の	屋する。 心の重要性につ
学期	2	言葉が開 『言語 グラム』	く世界 fとしての	ピクト	・文章 読み	で図表なり、内容や	どに含ま 書き手の	れている 意図を解	情報の釈す	を相互に関うる。	車付けながら
	3	話して伝スピー	える チで自分を	を伝える	たり ・展開	して、相手 を予想しな	この理解かれる いっこう こうかい こうしゅう こうしゅう いっこう いっこう かいしゅう かいしゅう はいしゅう はいしょう かいしょう はいしょう はいまれる はいまれる はいまれる しゅうしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいまれる はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	が得られる な、話の内	5よう 容、 [‡]	工夫したスト 構成、表現の	を効果的に用い ピーチをする。 仕方を評価する。
	4	人間と文 『水の 『スラ とし穴』	:化)東西』 · レオタイ	プの落	・文章・文章	重の種類を 重や図表に 理解を深る	踏まえて 含まれた める。	、叙述を 情報の妥	基に当性	内容の構成を信頼性の呼	を捉える。 今味の仕方につ
二学	5		、間 いロボット なぜ仕事を		文章	≷の一員と 重中に含ま;	しての生 れている	き方を考 情報を関	える 連付	ことを目的にけながら内容	こ文章を読み、 容を解釈する。
期	6	書いて伝 社会に 書く	ええる こ対する fi	意見文を	にす	⁻ る。		_ ,	•		たいことを明確開を工夫する。
Ξ	7	森がない	-スター島	になぜ						めることを 自分の考える	目的に文章を読を深める。
学期	8	書いて伝地域の	える)魅力を紹	介する	決め・目的	うる。			-		ら適切な題材を めて、文章全体

評	価の観点及び内容	評 価 方 法
知識・技能	実社会に必要な国語の基礎的・基本的な知識や 技能を身に付けている。	・定期考査・小テスト
思考・判断・表現	文章の読解を通して、論理的に考える力や深く 共感したりする力を高めている。	・定期考査・学習プリント等の記述・レポートの記述
主体的に学習に 取り組む態度	主体的に文章を読み解き、他者や社会に関わろうとしている。	・授業態度・ルーブリック・授業ノートの記述